

土木工学・建築学委員会分科会の設置について
分科会等名：感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	2020年 COVID-19により多くの人命が犠牲となり、国や地域を越えた移動や生活の自由度が大きく制限された。一方で二酸化炭素排出量は大きく削減され、大都市への人口集中も抑制された。換言すればこの感染症を新しい生活様式を構築する好機ととらえることもできる。 移動の抑制、集中の緩和等の感染症対策が地球環境改善に効果的であったという事実は、感染症対策と地球環境問題対策が同じベクトルを有していることを示す。情報環境の整備、IT化の推進が不要不急の移動・集合、資源の浪費を抑制するための代替手段として有効であることも明らかとなった。本分科会では我々の生活様式、働き方にさかのぼり、感染症対策が示した影響・効果の事実を検証しながら、激甚災害、人口減少、地球環境問題を考慮した変化に強い、しなやかな建築・インフラのあり方、都市や地域のあり方、情報技術の整備のあり方を考える。
4	審議事項	1. 感染症が日本と世界に与えた影響（土木建築分野から見た総括） 2. 新しい生活、働き方、オフィス計画 3. 地球に優しい社会、産業、交通 4. 情報技術(IT, AI)の利用、整備 5. 人口減少と国土利用 6. 感染症下の防災・避難・復興に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年11月26日 ～ 令和5年9月30日

6	備考	※委員構成の変更 分科会所属希望者が従前の 15 名を超過することとなったため、25 名へ改定するもの。
---	----	--